

2010年4月22日

「日本の ODA を変える会」

第3回会合プログラム

- 18:30～18:40 今までの議論と本日の趣旨 小嶋雅彦、大野泉
- 18:40～19:10 「国際協力政策の形成にむけて、政治の役割」
【キックオフご発言】
- ・ 柴崎敦史氏 参議院外交防衛委員会調査室調査員
(ODA 等特別委員会担当)
——ODA に関する参議院の取組み
 - ・ 武見敬三氏 東海大学教授(自民党前参議院議員)
(財)日本国際交流センターシニア・フェロー
——2006年 ODA 改革の今日的評価、政策決定のあり方への提言
(グローバル・ヘルス政策を事例に)
- 19:10～20:20 意見交換
- 20:20～20:30 まとめ

本会合のねらい

・マルチステークホルダー(政、産、官、学、NGO、マスコミ等)の有志により、国際協力の「現場の視点」や「国民の視点」から、新しい時代の日本の ODA のあり方を見直し発信する場をつくる。

・何のための ODA か、国民の理解と支持を得るには何が必要か、真に途上国に貢献するための方策は何か、国際社会をリードするために今何をすべきか、等の観点から、各界から話題提供していただき、具体的な議論を行う。とりあげるテーマは次のとおり。

- ① 新しい時代の ODA を考える視点
- ② 「民」主導の国際協力、多様な関係者との連携
- ③ 国際協力政策の形成にむけて、政治の役割
- ④ 市民の参加と理解、開かれた国際協力(予定)
- ⑤ アジア戦略、新興国との連携(予定)

・民主党政権のもと、「300日プラン」の中で外務省が取り組んでいる ODA の見直し作業にインプットすべく、2月～6月に会合を5回開催予定。可能であれば、「提言」を取りまとめる。

・「ODA マニフェスト」(2007年10月策定)後に達成できたこと、残る課題についても留意しつつ議論する。

本会合のウェブサイト: <http://www.grips.ac.jp/forum/2010/ODAMT10/oda2.htm>

事務局: GRIPS 開発フォーラム